

## 今夏の電力需給見通しと節電のお願いについて

東日本大震災により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。被災された方々、地域が復興していくことを心よりお祈り申し上げます。

さて、5月18日の政府のエネルギー・環境会議において、全国の今夏の電力需給対策が決定され、当社管内におきましては、節電が定着していることを考慮した場合に、供給予備率が3%程度を確保していること、また、被災地の復興需要に配慮する観点から、「数値目標を伴わない節電」に取り組んでいくこととなりました。

当社の電力需給見通しについては、平成24年8月において供給力が1,475万kWに対し需要が1,422万kWとなり、供給予備力が53万kW、供給予備率は3.8%の見通しとなっております。

このような見通しは、供給力に余裕があるようにも見えますが、その前提は、需給両面にわたってあらゆる対策を最大限織り込んだものであり、例えば出力60万kWの火力発電所で予期せぬトラブルが発生し停止しただけで、供給力不足に陥るといったリスクを抱えており、決して万全と言える状況にはございません。

こうしたことから、今年の夏につきましても、昨夏に取り組んでいただいたような節電への取組みについて、「経済活動に支障のない範囲で、可能な限り継続した取組み」をお願いしたいと考えております。

具体的な節電への取組みについては、例えば一般のご家庭や業務用のお客さまには、昨年と同様に、夏季における電力の消費量が最も多いエアコン・空調の温度の28度設定や照明の間引き等の節電対策について引き続き取り組んでいただきたいと考えております。

なお、当社におきましても、暑さが本格化する7月から9月を「夏季需給対策強化期間」と設定し、発電設備の重点パトロールや節電定着への理解活動などを計画的に実施していくとともに、当社企業グループとしても引き続き積極的に節電へ取り組んでまいります。

この夏、当社は電力の安定供給を維持し乗り切れるよう、需給両面での取組みを引き続き進め、万全を期してまいりますので、地域のみなさまには引き続き節電へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上